

たった「3語」で伝わる英語が話せるようになる！
5万部を突破した『ずるいえいご』著者の最新作

発売1週間で重版決定！新刊書籍『なんでも英語で言えちゃう本』 青木ゆか著

発行・発売／日本経済新聞出版社 発売日／2016年1月19日 定価／（本体1400円＋税）

日本経済新聞出版社



日本経済新聞出版社（本社：東京都千代田区／代表取締役社長 斎藤修一）は、2016年1月19日に書籍『なんでも英語で言えちゃう本』（著者：青木ゆか／発行・発売：日本経済新聞出版社／定価：本体1,400円＋税）を発売しました。**売れ行きが大変好調で発売1週間で重版となりました。**

本書は、**伝えたいことを英語で簡単に表現するための「3語」英会話術の方法論が盛り込まれ、より実践的な内容となっています。**単語力がなくても、フレーズを知らなくても、英語に対する発想を変えることで、スムーズにコミュニケーションがとれるメソッドが満載です。

著者は、**英語への自信が、仕事や私生活に役立つ“自分への自信”**になればと願い本書を執筆しました。英語の本でありながら、ビジネスの心構えやよりよいコミュニケーションの基礎を説いた一冊としても、広い読者層に愛読されています。

【3語で英会話をするための基本3つのステップ】

1) イメージを描く

→わからない単語は具体的なイメージを頭で広げる

2) 日本語①→日本語②→英語で考える

→頭に浮かんできた日本語をしっかりと自分で分析して、理解する
→ベテラン→「経験があるよね」や「なんでも知ってるだな」

3) 3語（「主語」と「動詞」「それ以外」）を探す

→日本語の会話は主語と動詞が非常に少ないので、英語の核となるこれらを探すことが大事

→いろんな主語の視点で考えると・・・

「あなた」＝なんでも知ってる

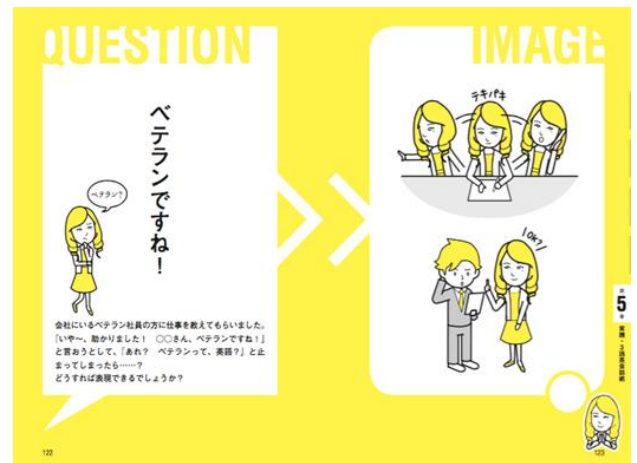
→You know everything!（あなたは知っているよね。何でも）

「私」＝尊敬している

→I respect you.（私は尊敬しています。あなたを）

「みんな」＝頼りにしている

→Everybody is counting on you.（みんな頼りにしています。あなたを）



【読者からの感想】

- ◆3語で本当に話せるかと思いましたが、確かにいけるかも！と自信と勇気をもらいました。
- ◆さっそく出張の移動中に読み始めましたが、とっても面白い着眼点！
- ◆TOEIC 推定スコア 100点（笑）の私に、希望を持たせてくれた本がこれ！
- ◆いかに「自分の力」で「英語で伝える」か。正解ありきの学習ではなく、自分の力で言葉を紡ぎ出し、自信をつけていく視点で生まれた本ですね。



著者：青木ゆか 「捨てる英語スクール」代表。

千葉大学大学院社会科学部研究科国際経済学専攻卒。高校時代にイギリスへ、大学時代にアメリカへ留学した経験を持つが、英会話に大きなコンプレックスを抱える。大学院修了後、外資系電子機器メーカーを経て、大手外資系保険会社で財務・経理コンプライアンス業務に従事し、独立。英語コンプレックスを乗り越えた経験をもとに、すてる英語メソッドを開発。そのメソッドを紹介した前著『ずるいえいご』（日本経済新聞出版社）は、5万部のベストセラーとなった。現在は企業研修や講演など幅広く活動し、メディアにも数多く取り上げられる。米国公認会計士の資格も持つ。